

科目	教育原理	担当	小川 純子	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。

教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせている諸要因とそれら相互の関係を理解する。

教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。

教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解する。

【履修注意】

教職課程を履修する学生の必修科目であり、教職課程を希望しない場合は受講できない。欠席は4回までとする。(遅刻2回で、欠席1回とする。)パソコンを持参する。

【評価方法】

定期試験(中間まとめと期末試験)70%、小論文、小テスト、提出物、講義への参加意欲30%によって総合的に評価する。

【試験について】

中間まとめと期末試験を実施する。また、毎時間、小論文または小テストを実施する。

再試験対象者の条件: 不合格者のうち、小論文すべて提出、小テストすべて合格、筆記試験40点以上の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

特に指定しない

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	教育とは何か	ガイダンス ヒトの特性、環境への対応 学ぶ能力と教える能力
2	世界の教育の歴史	古代ギリシャ 中世ヨーロッパ 近代教育思想
3	日本の教育の歴史Ⅰ	古代から明治時代 いろは歌小テスト
4	日本の教育の歴史Ⅱ	大正時代から昭和10年代 近代教育思想ワークシート
5	日本の教育の歴史Ⅲ	戦後教育改革の流れ
6	日本国憲法と教育基本法	日本国憲法抜粋 教育基本法全文 昭和22年と平成18年の変化
7	学習指導要領Ⅰ	現学習指導要領と生きる力 学習指導要領改訂のポイントⅠ
8	教科教育、中間試験	教科教育の目的・内容 学習指導計画 中間のまとめ
9	学習指導要領Ⅱ	学習指導要領改訂のポイントⅡ 主体的対話的で深い学び
10	子どもの権利	子どもの権利条約 児童憲章
11	人権教育Ⅰ	人権教育 啓発に関する世界・日本の動き
12	人権教育Ⅱ	女性 高齢者 障がい者
13	特別支援教育Ⅰ	特別支援教育にかかわる法令等
14	特別支援教育Ⅱ	特別支援教育とは 一人一人を大切にする教育 合理的配慮
15	最近の教育政策	学校教育法 地方分権と規制緩和 教員をめぐる政策
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ